

ジェンダー

コカ・コーラは1934年に、米国の大企業で初めて取締役役に女性を登用した会社です。

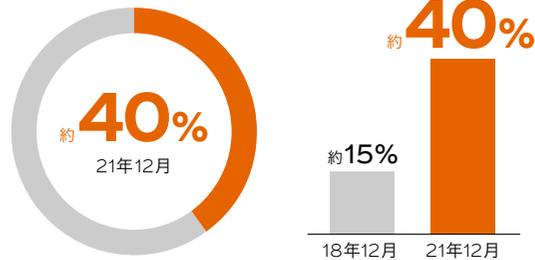
私たちは日本においてもまず、自社における女性管理職比率を2025年までに50%まで高め、業務のあらゆる局面での意思決定に女性の視点が反映される環境の実現を目指します。

この目標は、ザ コカ・コーラカンパニーが全世界で掲げる目標(2030年までに女性管理職比率50%達成)よりも早期の達成を目指すものです。

日本コカ・コーラの 女性社員/女性管理職比率

女性社員比率

女性管理職比率



女性活躍に向けた社内での取り組み

女性リーダーシッププログラム「AccelerateHER」

女性リーダーのキャリアアップをサポートするための研修プログラム「AccelerateHER」を日本コカ・コーラ、コカ・コーラボトラーズジャパン共同で実施しています。対象の女性社員は2日間の研修を通し、リーダーとしてのマインドセットと必要なスキルを学ぶとともに、研修終了後も相談しあえる同性の仲間のネットワークを得ることができます。また、本プログラムでは参加した女性社員の上司のための研修も同時に提供されます。上司は、女性が社内で躊躇せず重要な役割を担うために必要なサポートと、その方法を学びます。

Inclusion Month (多様性の尊重 推進月間)

日本コカ・コーラでは、2021年10月をInclusion Month(多様性の尊重 推進月間)とし、著名な女性リーダーや若手経営者、国内外のジェンダー、ダイバーシティに関する専門家を招いた社内向けセッションを開催しました。セッションではスピーカーの話をお聴きだけでなく、社員自身が多様性の尊重についてそれぞれの考えを共有し、自分にどのような変化をもたらすことができるかを話し合う機会も設けました。

社外に向けた活動・啓発

国際女性デー

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。女性の権利と政治的、経済的分野への参加を盛り立てるために、1975年に制定されました。日本コカ・コーラでは、女性の権利や女性活躍に向けた意識向上のため、この国際女性デーの日に毎年社内イベントを行っています。2022年には、社外に向けても情報発信を強化するため、日本コカ・コーラ 渋谷本社ビル前の屋外ビジョンに「国際女性デー」のイメージカラーであるパープルを用いたメッセージ広告を掲出したほか、女性活躍推進についてUN Women(国連女性機関)日本事務所代表の石川雅恵氏と、日本コカ・コーラ 代表取締役社長ホルヘ・ガルドゥニョの対談も実施しました。

UN Women「アンステレオタイプアライアンス」への参加



日本コカ・コーラでは、2020年よりUN Women(国連女性機関)が主導する国際的な取り組みであるアンステレオタイプアライアンスの日本支部の会員として活動しています。アンステレオタイプアライアンスは、あらゆるメディアと広告コンテンツにおいて、「有害なステレオタイプ(固定観念)」を撤廃するための思考と行動のための国際的なアライアンスです。

「2030年30%へのチャレンジ〜#Here We Go 203030」へ賛同

日本コカ・コーラでは、経団連が「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」のムーブメントを推進する「2030年30%へのチャレンジ〜#Here We Go 203030」※へ賛同し、D&Iの活動を推進していきます。



※ 経団連が2020年11月に公表した「新成長戦略」で、コロナ禍から回復し、持続可能な資本主義社会を実現するためのカギとして「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」をその推進力と位置付け、「2030年までに役員に占める女性比率を30%以上にする」との目標を掲げて、その達成に向けた具体的なアクションとして取りまとめたチャレンジ。